



A.E.U.G.

# MSN-00100 HYAKU-SHIKI

A.E.U.G. ATTACK USE PROTOTYPE MOBILE SUIT



1/100 scale MASTER GRADE MSN-00100 HYAKU-SHIKI Ver.2.0



反地球連邦組織 (エウゴ)  
攻撃型モビルスーツ  
MSN-00100 百式 Ver.2.0  
1/100スケール マスターグレードモデル

GUNDAM.INFO Search

[www.gundam.info](http://www.gundam.info)

バンダイホビーサイト [www.bandai-hobby.net/](http://www.bandai-hobby.net/)  
Any item displayed by your access method and connection to the website are  
your own responsibility.  
※インターネットアクセスする際の通信料はお客様のご負担となります。



## 地球連邦軍MS開発経緯

## グリプス戦役におけるMS開発

U.C. (宇宙世紀) 0079年に勃発した“一年戦争”によって、地球圏の軍事状況は一変した。既存の兵器体系はその根底から覆され、あらゆるレベルの安全保障は、攻防いずれにおいてもMS抜きに考える事はできなくなってしまうのである。

M (ミノフスキー) 粒子の散布技術の確立によって、有視界戦闘に特化されたMSの軍事的な優位性は揺るぎないものとなった。一年戦争以降の軍事力とは、すなわち保有するMSの数や性能であった。兵站からしてMSの運用が前提とされた。加えて、公国軍残党が保有するMSは相当数に上る事が火を見るよりも明らかであり、地球連邦軍はそれに対処する必要に迫られていた。MSの生産に関しては、ジオン公国最大の開発メーカーであったジオニック社を吸収合併したAE (アナハイム・エレクトロニクス) 社が連邦軍最大のMS供給元となり、新型機の開発などにもコミットする地位を確立していた。連邦系と公国系の技術融合そのものは、基本的にU.C. 0083年の時点でおおよそ完了しており、“ガンダム開発計画”がその成果であったということがいえる。ところが、“デラース紛争”の勃発と、その事後処理の過程で“ガンダム開発計画”にまつわる事象のほとんどが封印されてしまったため、公にはその関連技術を使用する事ができなくなってしまった。これを主導したのが、後に“ティターンズ”を設立する“ジャミトフ・ハイマン”であり、公国軍残党への実効的な対処を名目として、戦時に準ずる予算規模で独自にMSを開発、運用する権限を手に入れた。ジム・クワールの後継機、さらにはティターンズのフラッグシップMSとして開発されたRX-178 ガンダムMk-IIは、連邦系の技術のみで開発することが命題のひとつとされ、“ムーバブル・フレーム”の採用のほか、封印されたはずの“デラース紛争”期の装備なども試験的に採用されていた。ジャミトフは“地球至上主義”を掲げ、ジオンに代表される宇宙移民者の排斥や弾圧を公言しており、デラース紛争は格好の口実となっていたのだ。その動向に危機感を抱いていた連邦軍の穏健派やジオン系の政財界は、ティターンズがコロニー住民を虐殺した“30パンチ事件”を契機として反地球連邦政府組織“エウゴ”を結成する。そして、対抗措置としてAEと共同で独自のMS開発を始めていた。ティターンズから3機のMk-IIを強奪したエウゴとAEは、“デラース紛争”以来、実質的に断絶していた“純連邦系技術”を手に入れ、その画期的なコンセプトを貪欲に取り込み、リック・ディアスなどに採用していた独自技術の“ブロックビルドアップ”と組み合わせる事で、停滞していた“Zプロジェクト”を加速させた。特に“ムーバブル・フレーム”の入手は画期的であった。このフレームの出現によって、MSは抜本的な変革期を迎えたと言っても過言ではない。この時期以降に開発された機体が“第三代MS”と呼ばれるのはそのためである。ティターンズにおいては既に旧式扱いされていたMk-IIは、エウゴによってそのポテンシャルを開花させたと言っても過言ではない。百式もその恩恵に与った機体のひとつである。

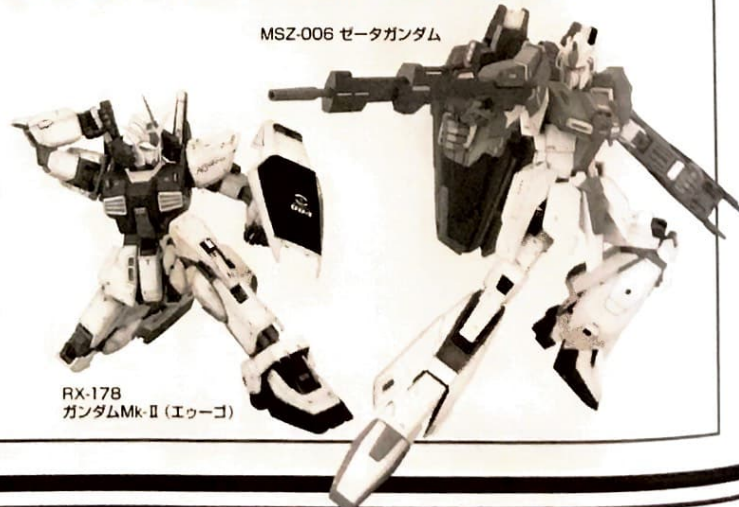


## 『Zプロジェクト』

“Zプロジェクト”とは、エウゴとAEによって推進された高性能な次世代MSの開発を企図したプロジェクトである。リック・ディアスの完成に前後して実施され、百式もこのプロジェクトによって開発された。

“Zプロジェクト”は、エウゴの戦略に応じた機体を開発する目的で推進されたプロジェクトであり、その概要は「無重量空間から重力下まで投入可能な汎用性の高いTMS (Transformable Mobile Suit=可変MS) を開発する」というものであった。なぜなら、当時のエウゴの最大の攻撃目標が連邦軍のジャブロー基地だったからだ。変形する事で機体特性を根本的に変更することが可能なTMSは、グリプス戦役当時には各陣営が開発、運用しており、単純に言えばMSが「自機の戦闘能力を単独で最前線まで空輸できる」だけでも画期的な事だった。ましてやティターンズは、自由落下状態でも高機動戦闘が可能なNRX-044 アッシマーなどをすでに実戦配備していた。エウゴにしても、母艦となる戦闘艦艇の調達すら困難な状況にあって、必要に応じて性格の異なる運用が可能なTMSの開発は必須の案件であった。このプロジェクトによって完成した“MSZ-006 ゼータガンダム”は、標準兵装のまま宇宙から大気圏に突入し、降下中も戦闘能力を失うことなく、重力下では即座に作戦行動に移行できるという画期的な機体であった。ただし、Zプロジェクトによって開発された機体はゼータガンダムだけではなく、生み出された機体の性格は多岐にわたっていたことも明らかになっている。AEの事情としても“ガンダム開発計画”以来の規模で各開発部門が動員されていたように、TMSのみならず、MSそのものの新たな可能性を探索する設計案も散見される。実際、MSZ-006X1~3 プロトタイプゼータガンダムやMSA-005 メタスなどを始めとする複数の設計案が持ち寄られていた。その一方で、“Mk-II強奪”によってティターンズとの直接的な軍事衝突の時期が想定よりも早まったため、開発途上の機体であっても前線に投入する必要が生じた。すなわち、Mk-IIの入手は奇貨としつつも、“ガンダム”の名を冠するに相応しいエウゴ

独自のフラッグシップ機が必要となったのである。δ (デルタ) ガンダムは、TMSとしては未完成であったものの、高速戦闘用MSとしての要求性能は十二分に満たしていた。仕様変更をしてまでロールアウトが前倒しされたのは、そういった側面もあったと思われる。また、公然の秘密であったクワトロ・バジーナ=シャア・アズナブルに相応しい機体を早急に調達するためとする説もまことしやかに囁かれている。これには、彼を後継者と目するエウゴの指導者“ブレックス・フォーラ”の意向も強く反映されていたようだ。



MSZ-006 ゼータガンダム

RX-178  
ガンダムMk-II (エウゴ)



## △ 注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品がありますので、小さなお子様が誤って飲み込まないように注意してください。窒息などの危険があります。
- ビニール袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 尖った部分や鋭い部分がありますので、取り扱いや保管場所に注意してください。思わぬケガをする恐れがあります。

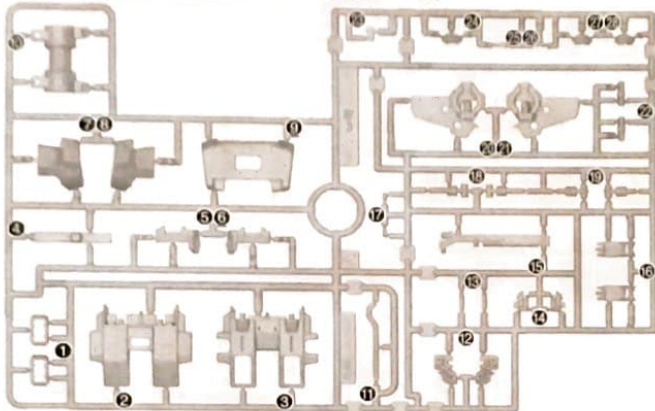
## 〈組み立てる時の注意〉

- 組み立てる前に説明書をよく読みましょう。
- 部品は番号を確かめ、ニッパーなどできれいに切り取りましょう。
- 部品の加工の際の刃物、工具、塗料、接着剤などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- 塗装には、より安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします
- メッキ部分の組み立てのキツイ部分は、メッキ部分をはがして組み立ててください。
- 本商品にはメッキ処理を施しています。消しゴム等で強く擦ったり、溶剤を付けて拭いたりするとメッキ加工が剥がれてしまう恐れがあります。スミ入れや塗装等の加工には十分ご注意ください。

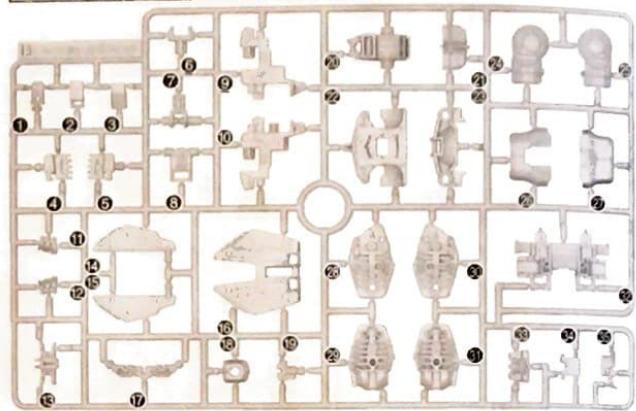
## パーツリスト

(×印は使用しないパーツです。)

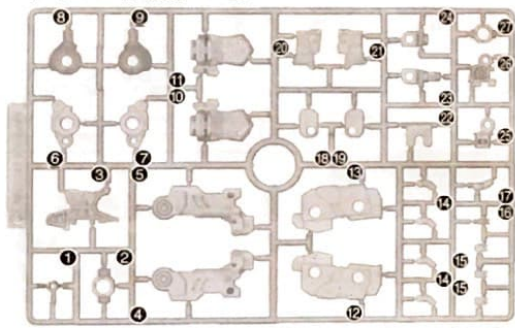
Aパーツ(イロプラ) (スチロール樹脂: PS)



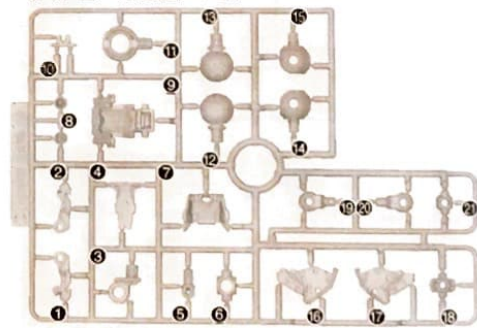
Bパーツ(グレー) (スチロール樹脂: PS)



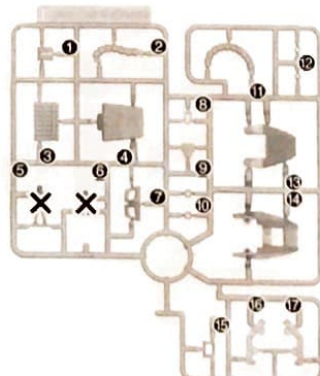
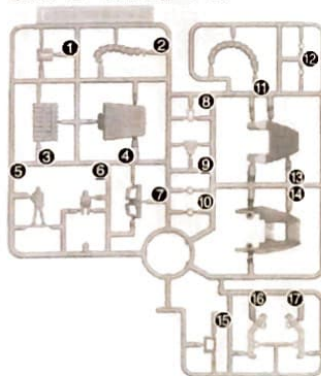
Cパーツ(グレー) (×2)  
(スチロール樹脂: PS)



Dパーツ(グレー) (×2)  
(スチロール樹脂: PS)



Eパーツ(レッド) (×2)  
(スチロール樹脂: PS)

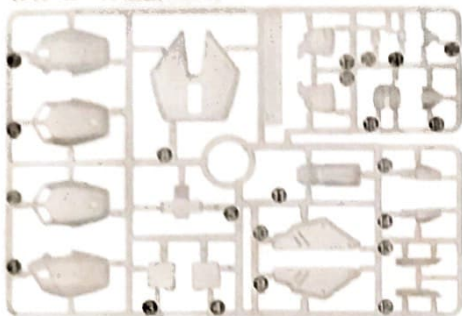


\* E⑥ 1個は予備です。

Fパーツ(ゴールドメッキ)

アンダーゲート用D

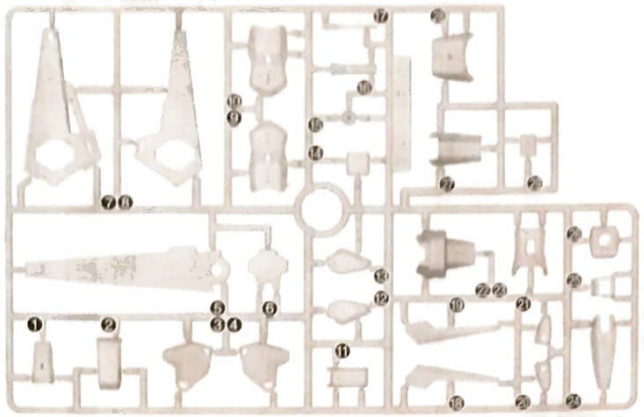
(スチロール樹脂: PS)



Gパーツ(ゴールドメッキ) (x2)

アンダーゲート用D

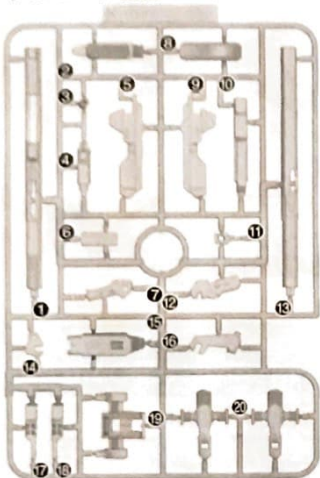
(スチロール樹脂: PS)



\*G10個は予備です。

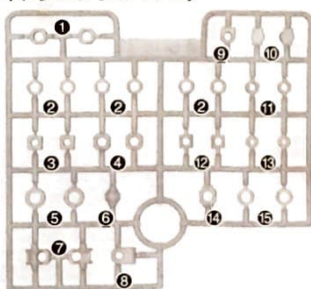
Hパーツ(ガンメタリック)

(スチロール樹脂: PS)



PC-211(グレー)

(ポリエチレン: PE)



SB1パーツ(クリアイエロー)

(スチロール樹脂: PS)



\*クリアパーツの中には、製造工程上気泡が入っているものがありますがご了承ください。

カラーシール.....1枚  
マーキングシール.....1枚  
ガンダムデカール.....1枚

1/100SCALE MGシリーズ  
百式 Ver.2.0

〈お買い上げのお客様へ〉

・万が一、部品に不具合がありましたらその部品を取り外し、品番・品名、詳細を添えてお客様相談センターへお送りください。

・部品通販は下記から「お客様サポート・部品通販」サイトへアクセスいただき、「WEB部品通販」をご利用ください。

\*定額小為替による部品通販は行っていません。

International customers, please visit: <https://bandai-hobby.net/global/index.html>

〈お問い合わせ先〉 BANDAI SPIRITSお客様相談センター

Web [https://bandai-hobby.net/customer\\_support/](https://bandai-hobby.net/customer_support/)

\*通信費等はお客様のご負担となります。



ナビダイヤル 0570-078-001

●受付時間 10時~17時(土日祝日、夏季休業日を除く)

〈商品送付先〉

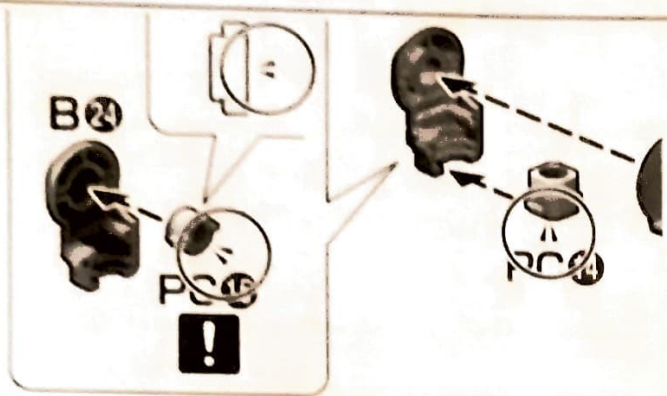
〒420-8681 静岡県静岡市東区長沼500-12

品番: 2297020 2015.05/T・TO

# 組み立て前の基本説明

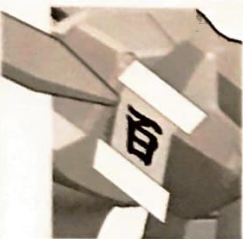
## 部品の向きに注意してください

◆組み立て図中にVのついている部品は、形状や向きに注意して組み立ててください。



## ガンダムデカールの貼りかた

①ガンダムデカールは、転写するマークを保護シートと一緒にマークより大きめに切り出してください。



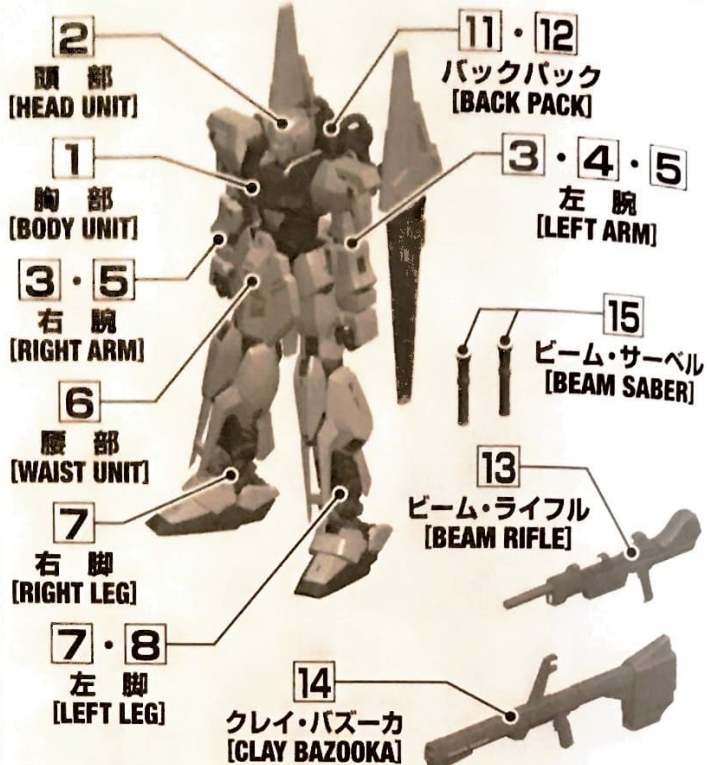
②保護シートをはがし、貼る位置を決めてから、ずれないようにセロハンテープ等で固定し、マークの上からボールペン等の先端の丸い物でこすりつけて定着させます。



③シートを静かにはがし、デカールが定着していない部分が残った場合はシートを元に戻し、その部分を再度こすりつけます。

◆デカールを貼り間違えた場合は、セロハンテープ等ではがしてください。

## 説明書をよく読んで完成させましょう

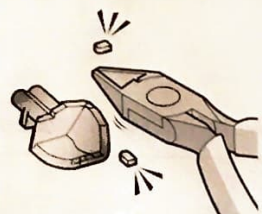


## アンダーゲートの切り取りかた

▶アンダーゲート マークの付いた部品は、下の図のようにキレイに切り取ります。

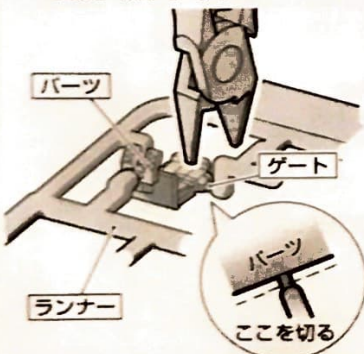
※説明書で「アンダーゲート」と表記されているパーツには裏側等にゲートがあります。  
▶の印が付いている部分は忘れないようにきれいに切り取ってください。

アンダーゲート  
F14

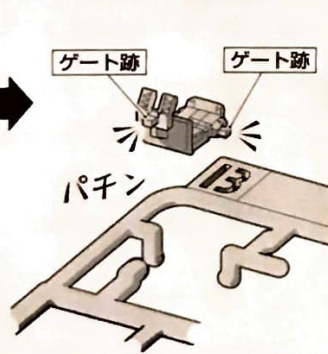


## パーツの切り取りかた

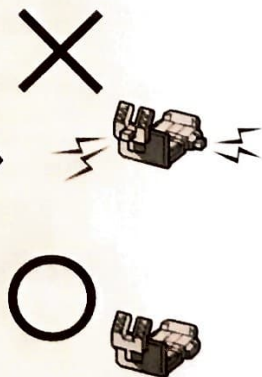
①まず、パーツから少し離れた位置にニッパーの刃を入れて切り取ります。



②パーツを切り離して持ちやすくなったところでゲート跡の処理に入ります。



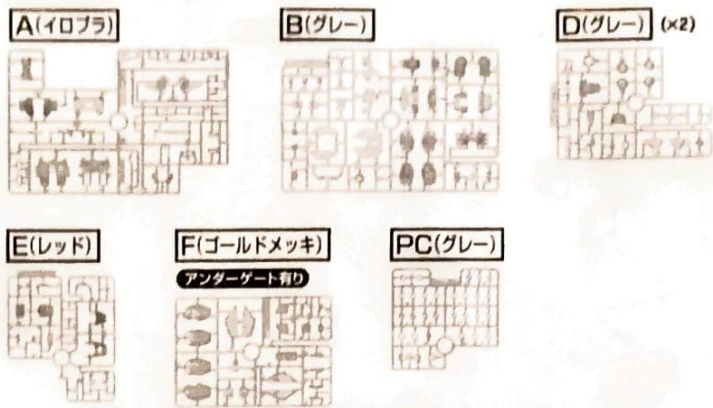
③ニッパーの刃をパーツに密着させてゲートを切り取れば、きれいに仕上がります。



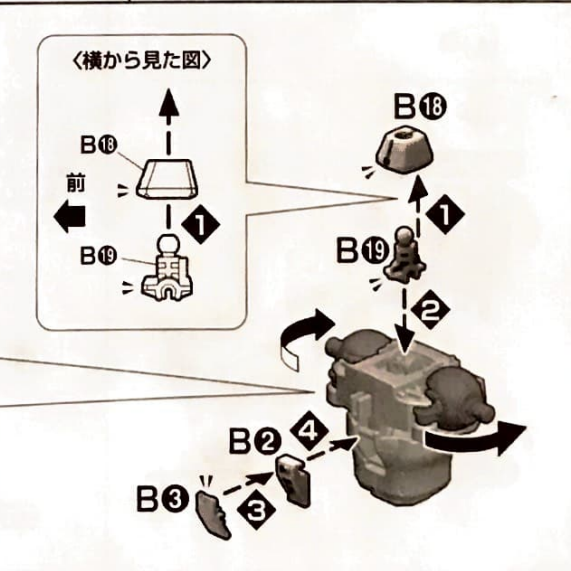
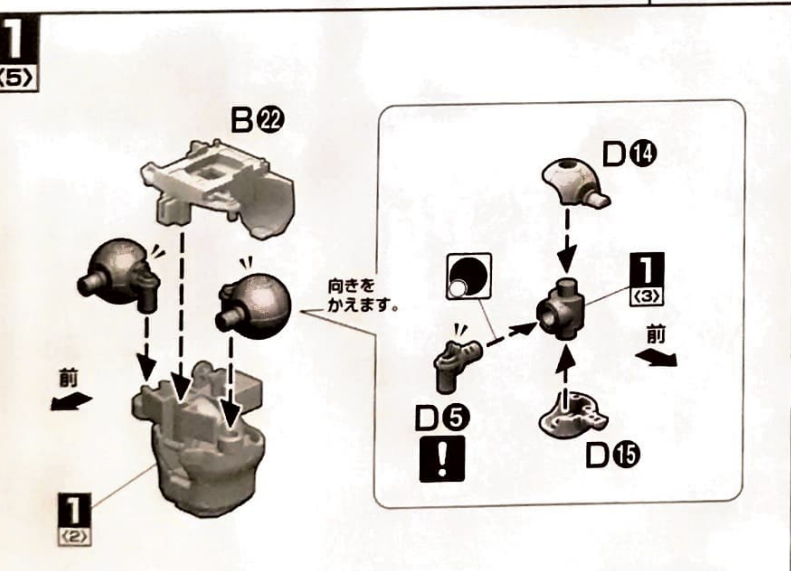
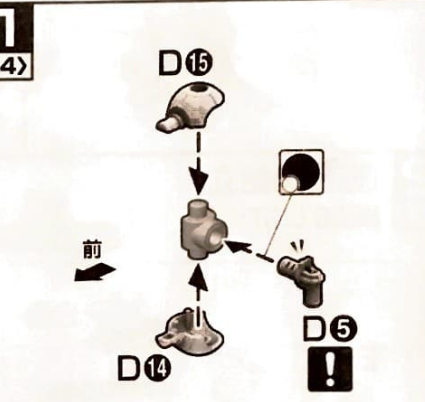
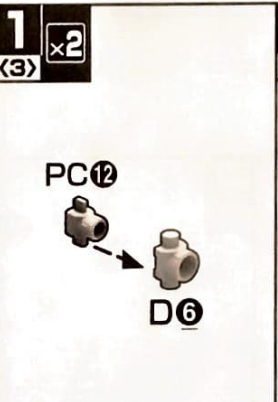
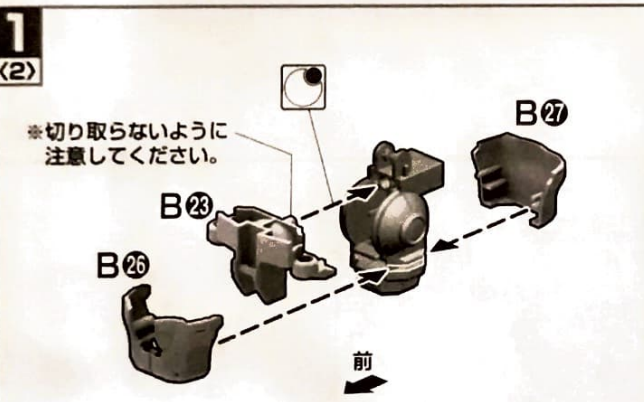
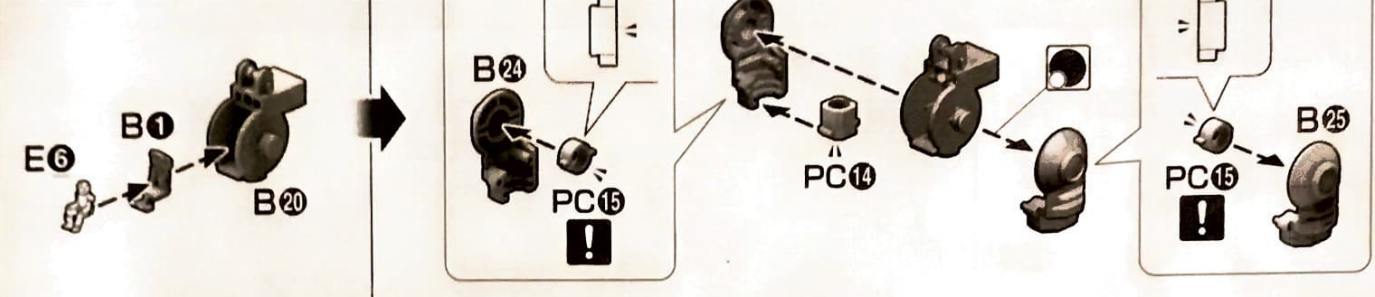
# 1 BODY UNIT



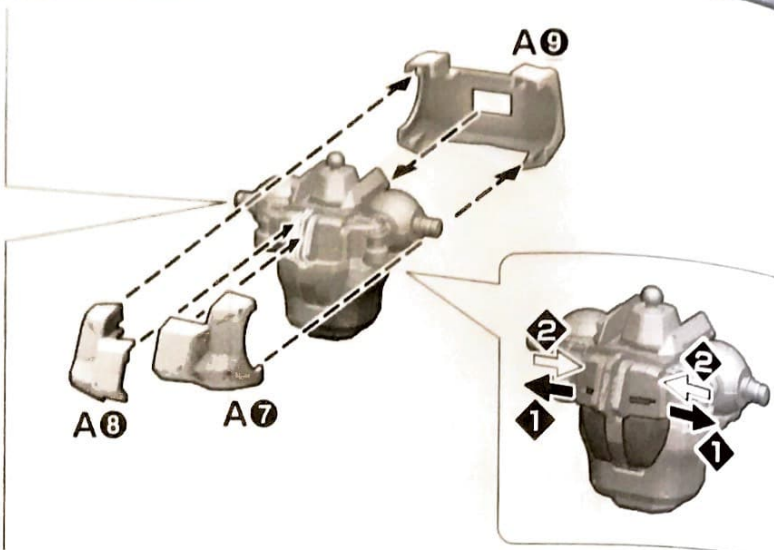
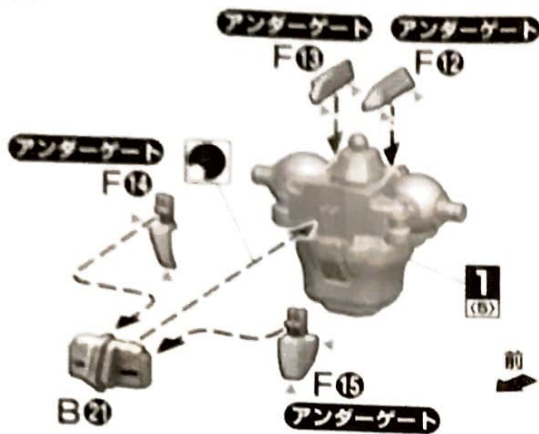
・組立 1 で使用するパーツ



## 1 (胸部の組立) BODY UNIT



1  
(6)



2 HEAD UNIT

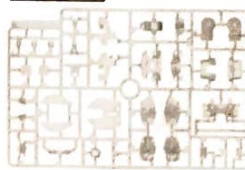


・組立2で使用するパーツ

A(イロフラ)



B(グレー)



F(ゴールドメッキ)



G(ゴールドメッキ)



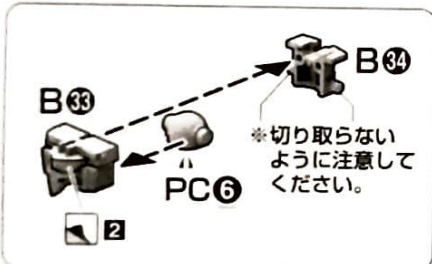
PC(グレー)



・カラーシール

2 (頭部の組立)

(1) HEAD UNIT



アンダーゲート

F16



アンダーゲート

F22



アンダーゲート

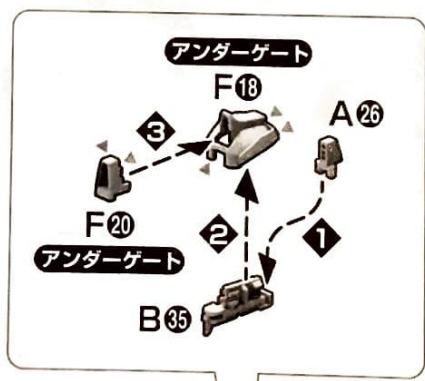
アンダーゲート

F17



アンダーゲート

2  
(2)



\*シールは先に貼ります。

\*きれいに切り取ります。

アンダーゲート

F19



アンダーゲート

アンダーゲート

F21



アンダーゲート

\*シールは先に貼ります。



\*折らないように注意してください。

アンダーゲート

G17





# 345 ARM UNIT



・組立3・4・5で使用するパーツ

A(イロブラ)



B(グレー)



C(グレー) (x2)



D(グレー) (x2)



E(レッド) (x2)



F(ゴールドメッキ)



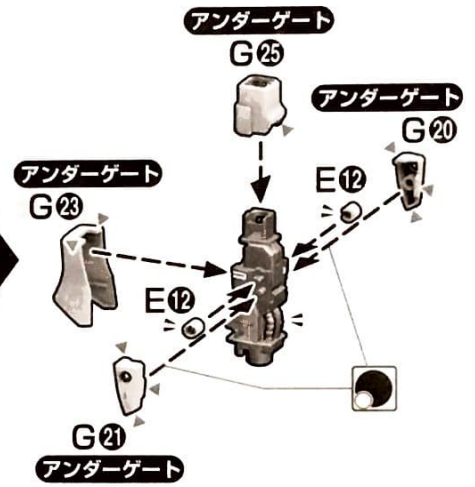
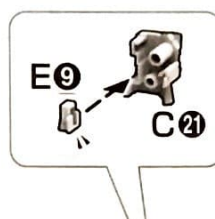
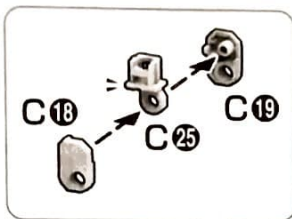
G(ゴールドメッキ) (x2)



PC(グレー)

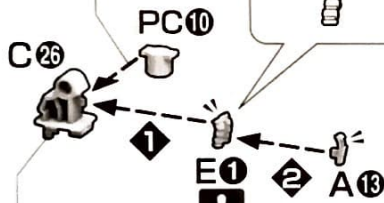


## 3 (腕部の組立) ARM UNIT



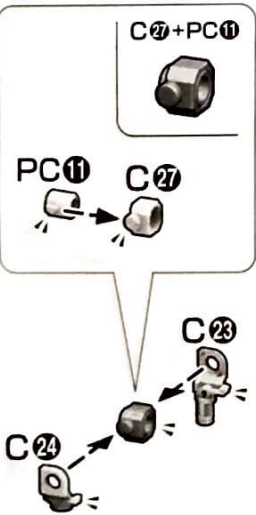
※奥までしっかりと、はめ込みます。

〈横から見た図〉

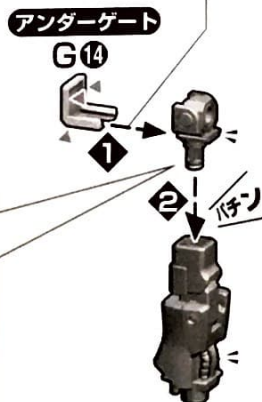


※切り取らないように注意してください。

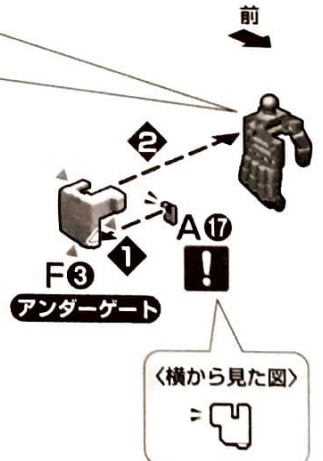
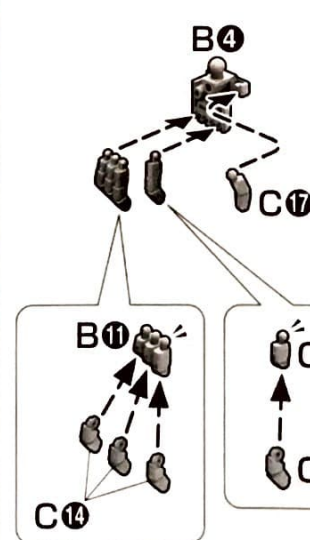
## 3 (2)



※ミゾに合わせてはめ込みます。



## 3 (3) 右腕の組立 RIGHT ARM



### 3 (4)

### 4 (左腕の組立) LEFT ARM

### 5 (1) (肩部の組立) SHOULDER ARMOR

### 5 (2) (上半身の完成) UPPER BODY

### 6 WAIST UNIT

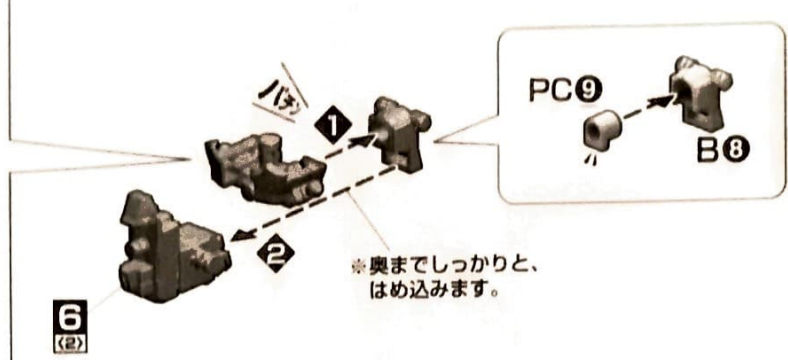
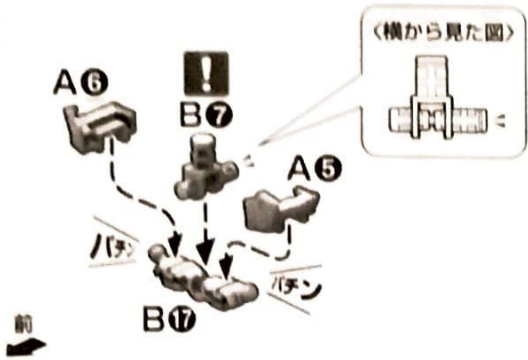
・組立6で使用するパーツ

<b>A</b> (イロプラ)	<b>B</b> (グレー)	<b>D</b> (グレー) (x2)	<b>F</b> (ゴールドメッキ) アンダーゲート有り	<b>PC</b> (グレー)
-----------------	----------------	---------------------	------------------------------	-----------------

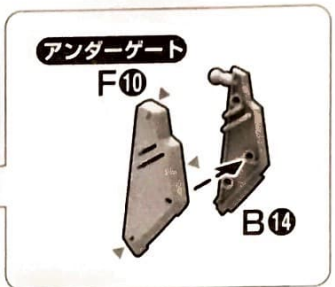
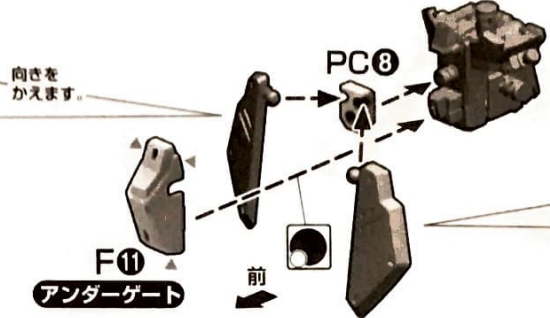
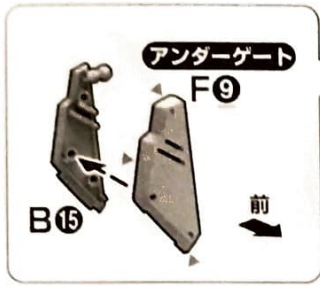
### 6 (1) (腰部の組立) WAIST UNIT

### 6 (2)

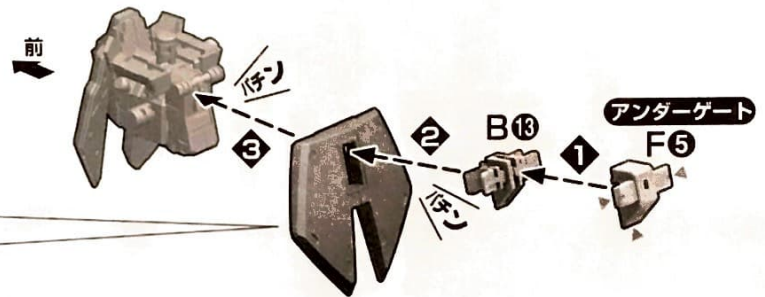
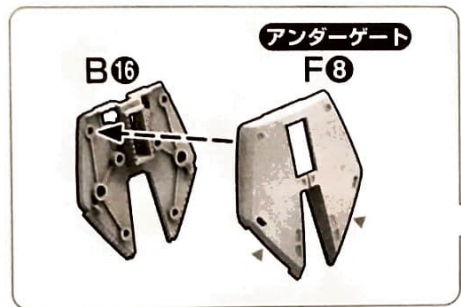
6  
(3)



6  
(4)



6  
(5)



78 LEG UNIT



・組立7・8・9で使用するパーツ

<b>A(イロプラ)</b> 	<b>B(グレー)</b> 	<b>C(グレー) (x2)</b> 	<b>D(グレー) (x2)</b> 
<b>E(レッド) (x2)</b> 	<b>F(ゴールドメッキ) アンダーゲート有り</b> 	<b>G(ゴールドメッキ) (x2) アンダーゲート有り</b> 	<b>PC(グレー)</b> 

※組立図中の記号説明  
 向きに注意して組み立てる  
 後から組み立てる

# MS Tracks in U.C.0087 (グリプスの軌跡)

## Storm over Killmanjaro (キリマンジャロの嵐)

ティターンズのキリマンジャロ基地を攻略するカラバの作戦に呼応し、陽動のため軌道上から基地を攻撃するアーガマ。ところが、ヤザン隊の奇襲によってダメージを受けた百式が軌道を外れてしまい、やむなくZと共に地表に降下することとなった。地上に降り立ったカミーユとクワトロは、戦闘を避けて基地内部に潜入し偵察を始める。一方、ディジェを駆るアムロは、激戦の最中にあっても降下したはずのZ、百式を気遣っていた。と、その眼前に巨大な漆黒の機体が出現する。「あれは、……サイコ・ガンダム!!」猛烈な拡散メガ粒子砲に味方機が次々と撃墜され、アムロも回避行動を余儀なくされる。その時、Zと百式が身を潜めていた湖底から身を翻し、ディジェの援護に駆けつけた。「あれは、カミーユとシャア!!」サイコの前面に立ちふさがるZ。しかしカミーユの声はフォウには届かず、ビームがZを掠める。「下かれ、カミーユ!!」シャアは、ウェーブライダー形態で喚叫しようとするZを百式の体当たりでサイコの射程から突き飛ばす。「離れるんだ! サイコ・ガンダムは危険だ!!!」「アムロ!!!」「退くぞ!」アムロのディジェも牽制のためサイコに一撃離脱の攻撃を浴びせるが……!!!



※画像はイメージです。








## Riders in the Skies (宇宙を駆ける)

グリプス2を掌握したエウゴは、コロニーレーザーの照準をティターンズ艦隊に定めた。それを受け、プライトはカミーユにグリプス2の防衛を命じる。しかし、ティターンズ艦隊を温存したいシロッコは、コロニーレーザーの照射を阻止すべく、ジ・Oを駆ってグリプス2内部に侵入しコロニーレーザーの励起装置を破壊し始めた。クワトロ大尉は百式でシロッコを追う。「シロッコの奴……ン!?」「レーザー砲を潰そうというのかい!?」追いつがるハマーンのキュベレイも百式を追い詰める。「これ以上破壊されると……」焦るシャアの前にシロッコが立ちちはだかる。「死にに来たか!!」「もうっ!?」装置の影からジ・Oが狙い撃ち、それを避ける百式にキュベレイが斬り掛かる。ビーム・ライフルをかまえた腕ごと持っていたかれた百式は、そのまま横っ飛びにハマーンの切っ先を逃れ、一瞬遅れて放たれたビームに紛れようとして発振器に突っ込んでしまった。「ここまでだな」「シャアッ!!」「そうかい?」ジ・Oとキュベレイに囲まれながら、なおも逃れるシャア。ハマーンは未だ自軍に引き込もうと探りを入れるが、シロッコはもとより撃破を狙う。「もう貴様は消えてい!!」百式の片足をもぎ取られてもシャアは屈しない。「ええいっ! まだ終わらんよ!!!」絶対の窮地に追い込まれてしまったシャア。果たして!!!

## PAINTING (塗装)

### MSN-00100 百式 Ver.2.0

※よりリアルに仕上げたい方は、下の基本色をご覧ください。  
※塗装にはより安全な「水性塗料」のご使用をおすすめします。

	胸部等 ブルー部の塗装色 インディブルー (55%) +パープル (40%) +ブラック (5%)		フレキシブル・バンダー基部等 シルバー部の塗装色 シルバー (100%)		ビーム・ライフル動力パイプの塗装色 ゴールド (100%) の上から クリアイエロー (100%)
	腹部等 グレー部の塗装色 マホガニー (45%) +ホワイト (25%) +ブラック (20%) +カーキ (10%)		武器等、メタリックグレー部の塗装色 黒鉄色 (100%) +シルバー (少量)		額、センサー等 グリーン部 クリアグリーン (60%) +クリア (40%)
	足、動力パイプ等 レッド部の塗装色 レッド (50%) +あすき色 (50%) +ブラック (少量)	※カラー配合は参考値であり、画像とカラーガイドの色は異なる場合があります。 ※ここに掲載している情報は2015年5月現在のものです。			

## クワトロ・バジーナ

制服

- 顔等の塗装色  
薄茶色 (50%) +ホワイト (50%)
- 髪等の塗装色  
ホワイト (75%) +イエロー (15%)  
+薄茶色 (10%)
- インナー等 ホワイト部の塗装色  
ホワイト (100%)
- 制服等 レッド部の塗装色  
モンザレッド (100%)
- 肩、ベルト等 ブラック部の塗装色  
ブラック (100%) +ホワイト (少量)

ノーマルスーツ

- ノーマルスーツ等 ピンク部の塗装色  
サーモンピンク (60%) +ホワイト (40%)  
+イエロー (少量)
- パイザー等 ライトブルー部の塗装色  
ブルー (100%) +エメラルドグリーン (少量)
- ヘルメット等 ブラウン部の塗装色  
マホガニー (70%) +ホワイト (25%) +ブラック (5%)
- 肩等 レッド部の塗装色  
あすき色 (90%) +ホワイト (10%)

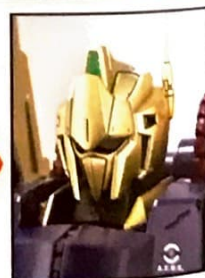
## ワンポイントステップ ~One point step~

**スミ入れしてみよう!**  
ガンダムマーカー/スミ入れ用(別売り)などを使用して、キットのスジ彫りを塗装することで、立体感、リアル感が増します。スミ入れるだけで見違えるような仕上がりになります。

※本商品にはメッキ処理を施しています。消しゴム等で強く擦ったり、溶剤を付けて拭いたりするとメッキ加工が剥がれてしまう恐れがあります。スミ入れや塗装等の加工には十分ご注意ください。



[before]



[after]

# MSN-00100 HYAKU-SHIKI MECHANISM

「Z計画」から生み出された高性能試作MS。非変形機への仕様変更が行われたが、その機動性とポテンシャルの高さは、ウトロ・バジールによって証明された。脚部構造などから可変機構の名残を窺い知ることができる。



▲百式のバックパックは、リック・ディアスの動力デバイスとバインダー基部を圧縮した構造に一般的なスラスターユニットを組み込んだもので、むしろフレキシブル・バインダーの流用自体を主目的として構成されている。



◀百式のアームユニットは、リック・ディアスのマニピュレーターや装甲の構成をムーバブル・フレームに移植する際のマッチングテストを兼ねた構造を持っていた。その結果は非常に良好で、稼働も安定していた。

MODEL NUMBER : MSN-00100

Height : 20.6m

Weight : 31.5t

Armor materials : Gundalium alloy

\*上記は劇中の設定です。



◀内部フレームイメージ▶

\*組立回通りに組立てた場合には、この写真のようになります。



▲百式のヘッドユニット構成は、ガンダム系の意匠を踏襲しつつアップデートされており、バルカン砲や各種センサーデバイスの選定など、基本的なシルエットは無論のこと、ゼータガンダムの設計そのものに多大な影響を与えている。



▲百式のボディユニットは6ガンダムとして建造されていたが、モジュールごとリック・ディアスのフレームをコクピット内蔵型に改装したものと換装された。その際、ジェネレーターや最終装甲の構成なども変更されている。



▲百式のレッグユニットは、ムーバブル・フレームを導入しながら、ほぼ6ガンダムの設計素通りの構造を持っており、最終装甲の形状の再検証と、TMSでは不可避の「可動部の露出」問題への対応を模索するのに最適であった。

\*[MG Ver.2.0]による開発系譜からの新解釈

## Weapons

MSN-00100 HYAKU-SHIKI Armaments



▲クレイ・バズーカ、ビーム・ライフルはバックパックにマウントが可能。



イクレイ・バズーカのマガジンは増設が可能。

Clay Bazooka



▲グリップをセットしたサーベルラックは上下にスライドが可能。



Beam Rifle

Beam Saber

## Check it!

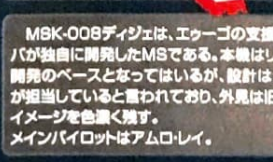
百式と共にグリプス戦役を駆け抜けたMSたち

MSZ-006ゼータガンダムは、エーゴが推進する「Zプロジェクト」によって開発された攻撃用可変MSである。エーゴの持つMS技術とティターンズから強奪したRX-178 ガンダムMk-IIがもたらした「ムーバブル・フレーム」技術の融合によって誕生した。本機の完成に至る過程において百式の開発技術が多大な影響を与えたことは言うまでもない。メインパイロットはカミーユ・ビダン。

ゼータガンダム

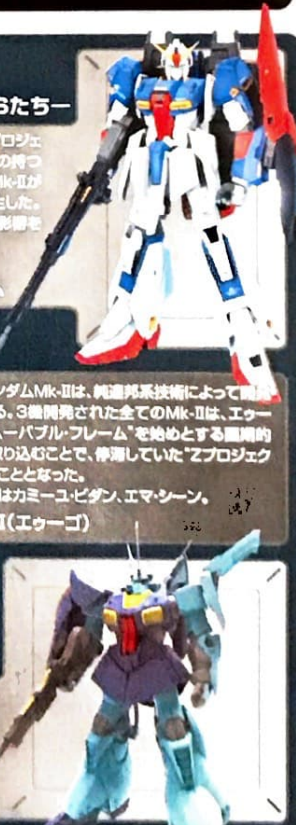


RX-178 ガンダムMk-IIは、純粋な技術によって開発されたMSである。3機開発された全てのMk-IIは、エーゴに強奪され「ムーバブル・フレーム」を始めとする画期的なコンセプトを取り込むことで、作選していた「Zプロジェクト」の進展を見ることができた。メインパイロットはカミーユ・ビダン、エマ・シーン。ガンダムMk-II(エーゴ)

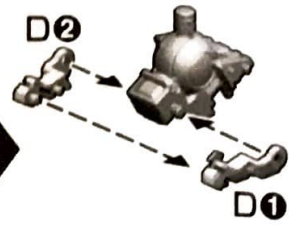
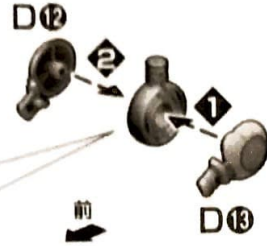
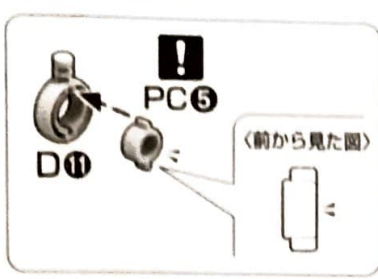


MSB-008ディジェは、エーゴの支援組織であるカラバが独自に開発したMSである。本機はリック・ディアスが開発のベースとなっているが、設計はジオン系技術者が担当していると言われており、外見は旧ジオンMSのイメージを色濃く残す。メインパイロットはアムロレイ。

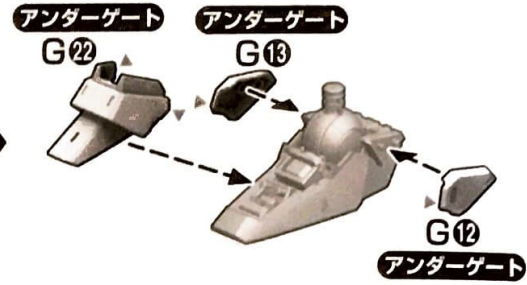
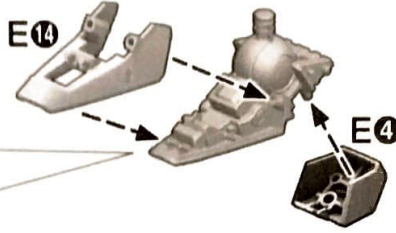
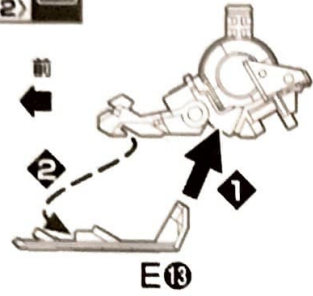
ディジェ



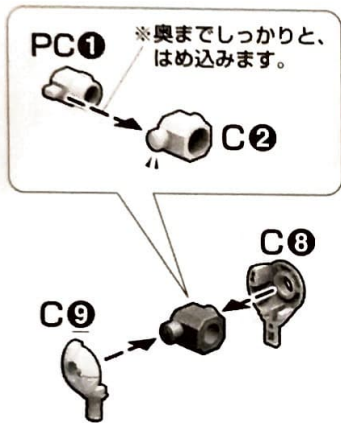
**7** **x2** (脚部の組立)  
**(1)** LEG UNIT



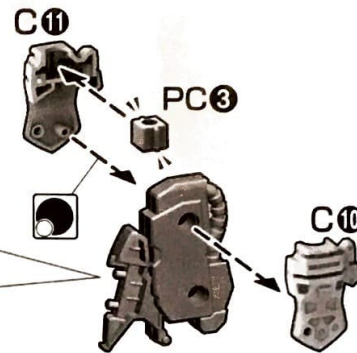
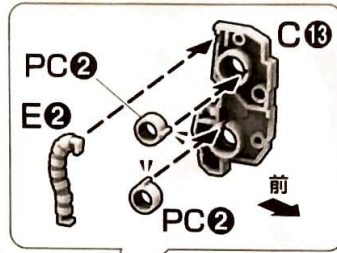
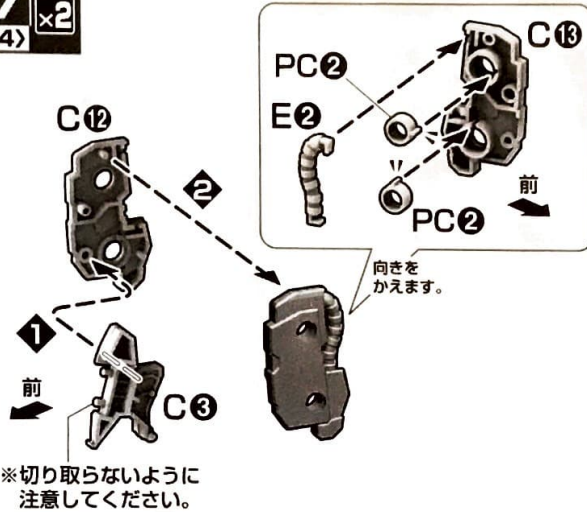
**7** **x2** (横から見た図)  
**(2)**



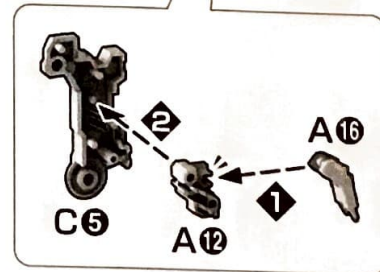
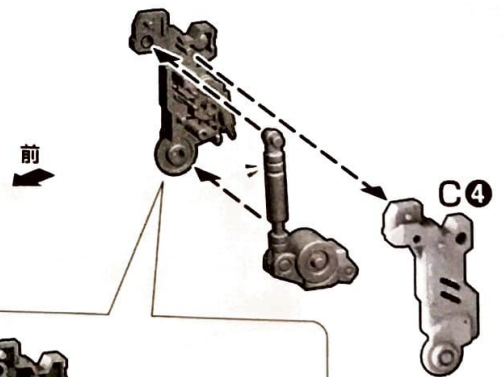
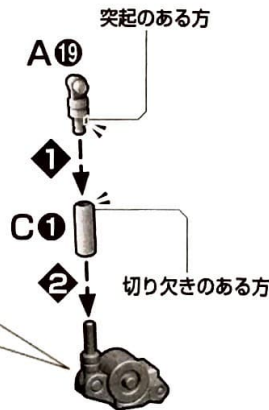
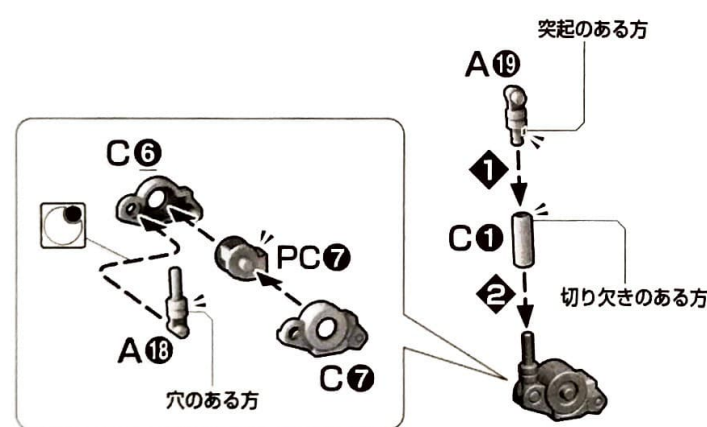
**7** **x2** **(3)**



**7** **x2** **(4)**

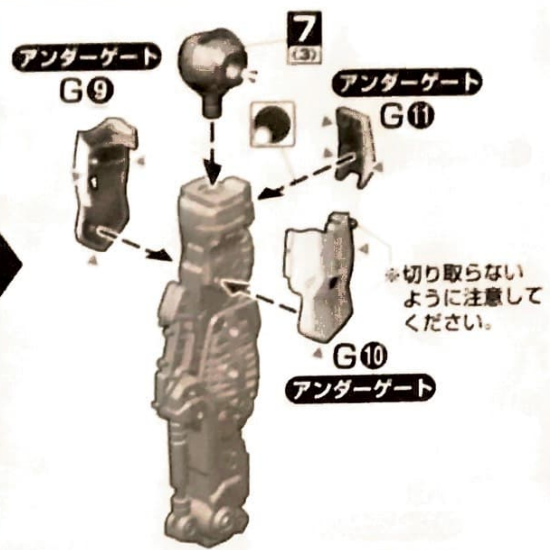
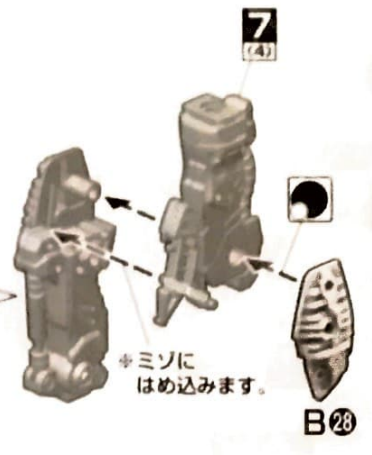
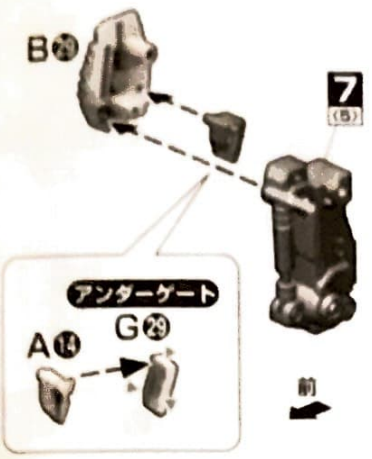


**7** **x2** **(5)**

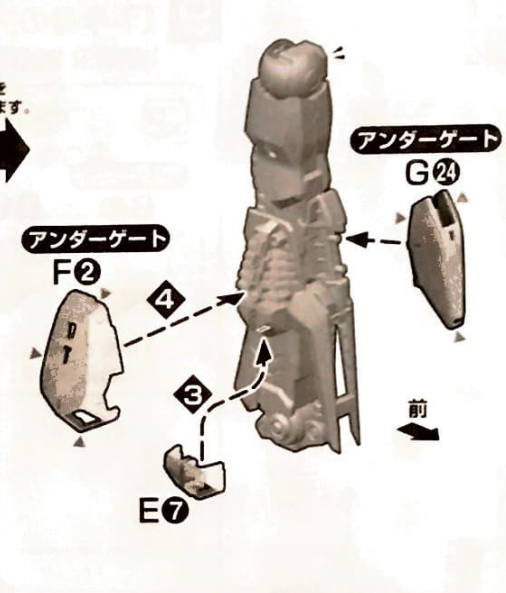
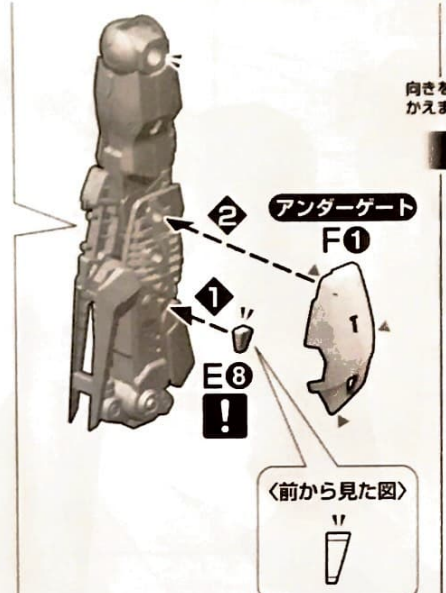
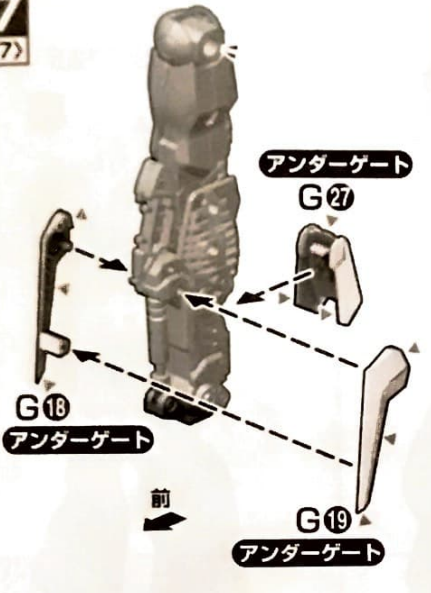


# 7 (右足の組立)

## (6) RIGHT LEG

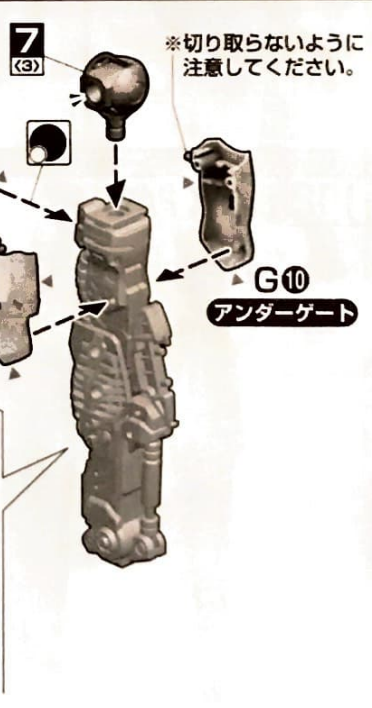
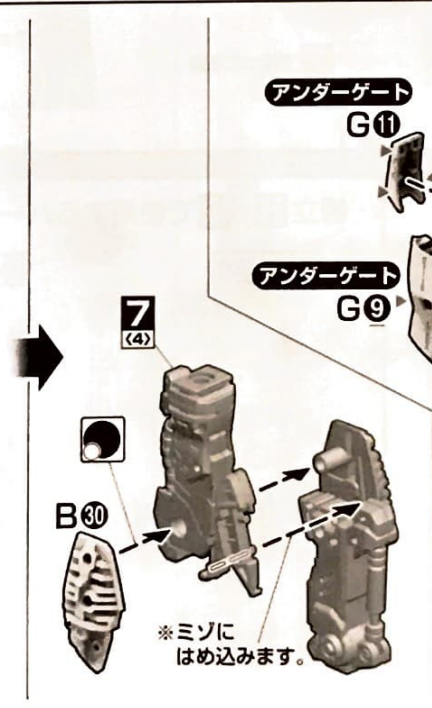
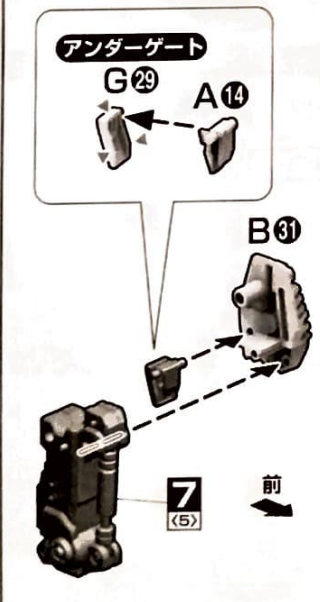


# 7 (7)



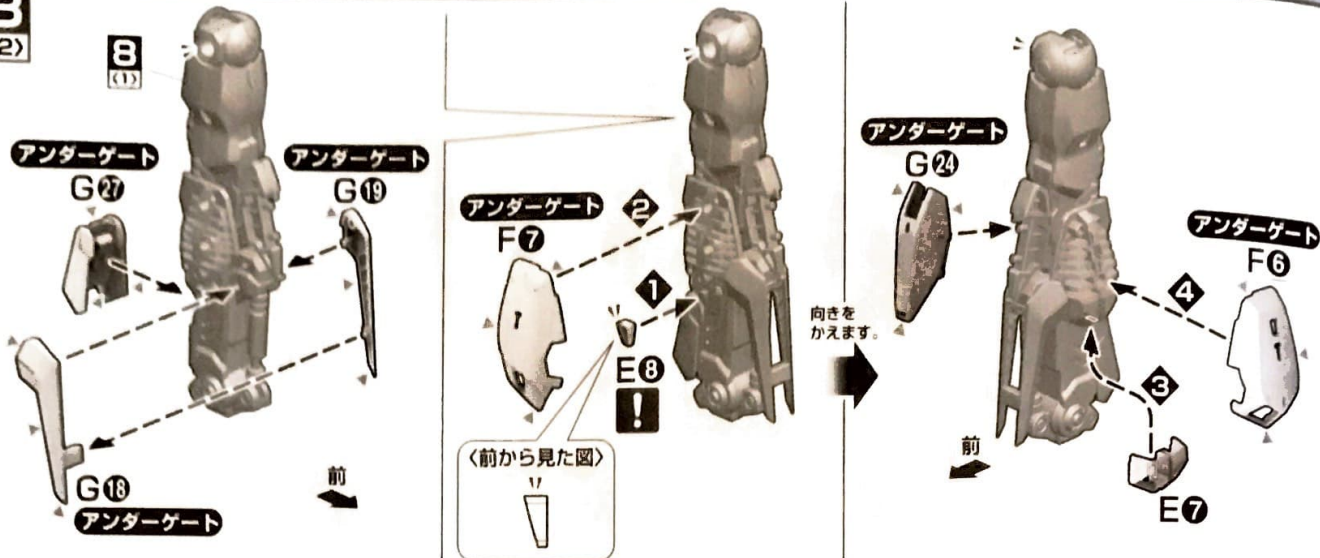
# 7 (8)

## 8 (1) LEFT LEG

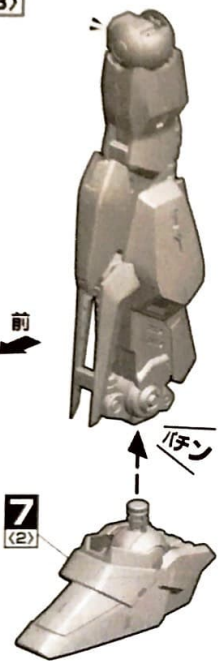


\*組立図中の記号説明  
 後から組み立てる  
 向きに注意して組み立てる

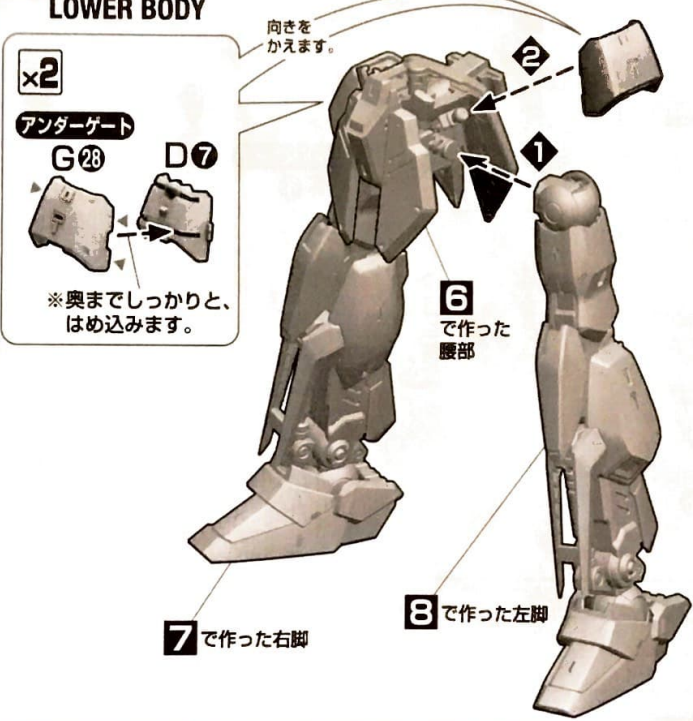
**8**  
(2)



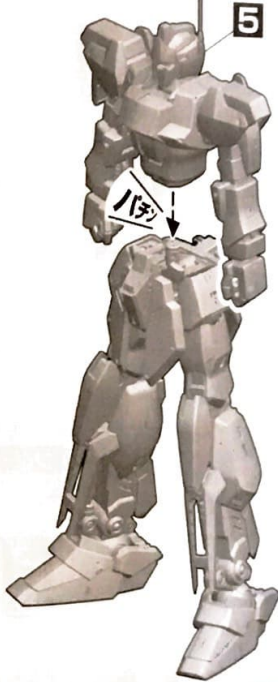
**8**  
(3)



**9** [下半身の完成]  
LOWER BODY



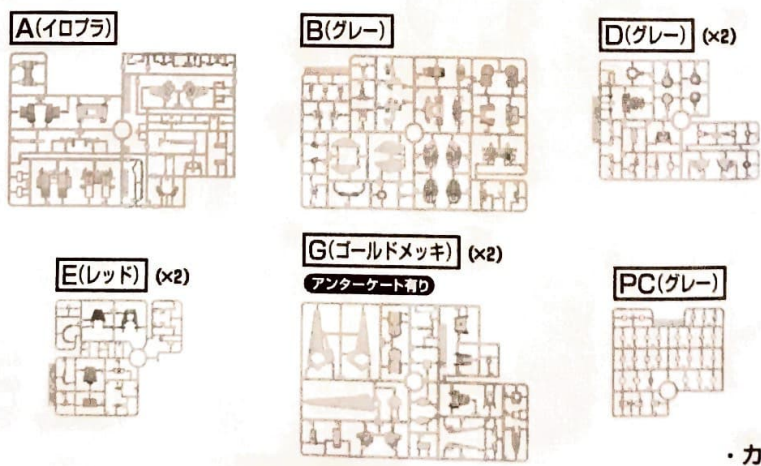
**10** [完成]  
FINAL ASSEMBLY



**11 12** BACK PACK



・組立 11・12 で使用するパーツ



・カラーシール

※組立図中の記号説明

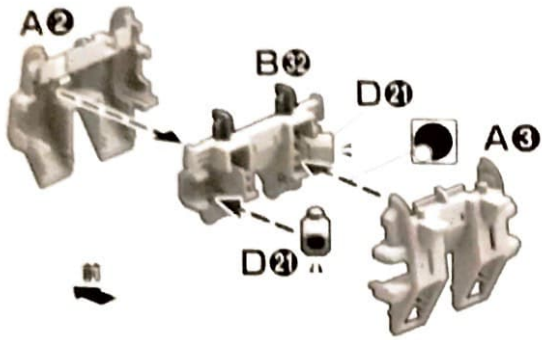
! 向きに注意して組み立てる

x2 部品を数値の個数作る

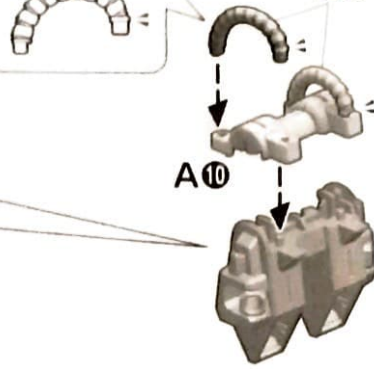


# 11 [バックパックの組立]

## 11 (1) BACK PACK

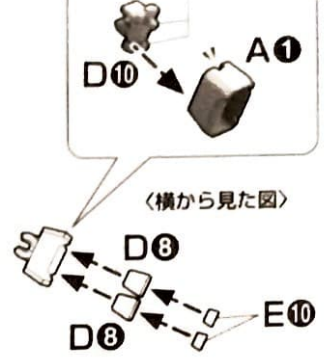


〈横から見た図〉

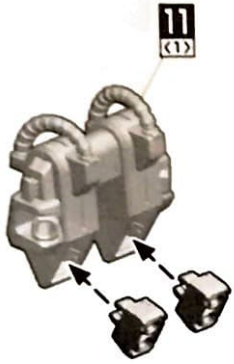


## 11 (2) x2

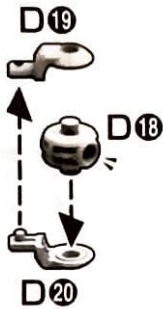
※切り取らないように注意してください。



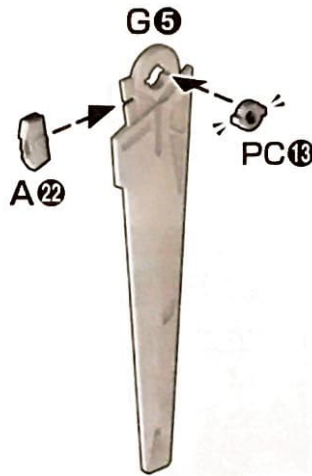
## 11 (3)



## 12 (1) x2



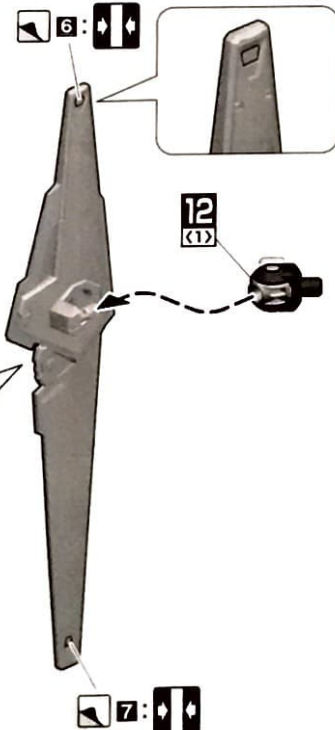
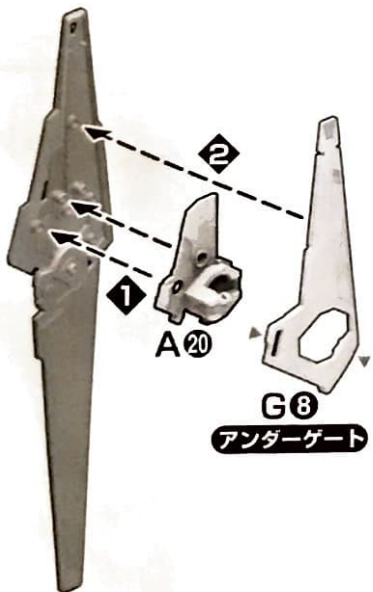
## 12 (2) x2



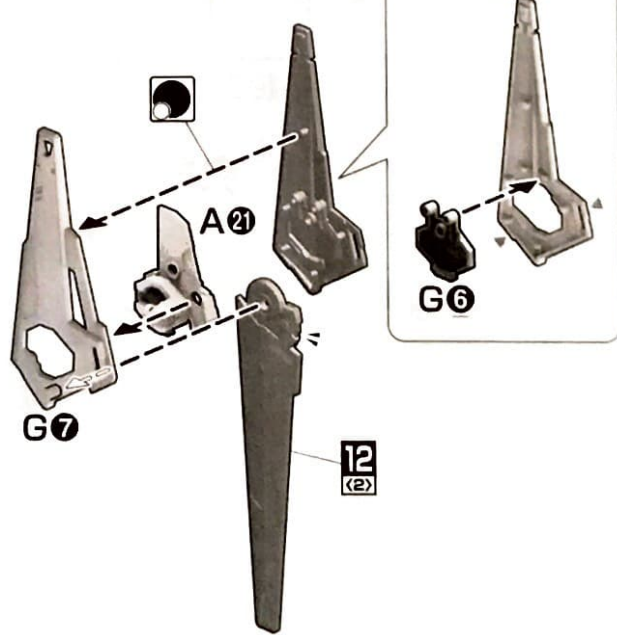
## 12 (3)



## 12 (4)



## 12 (5)



※組立图中的記号説明

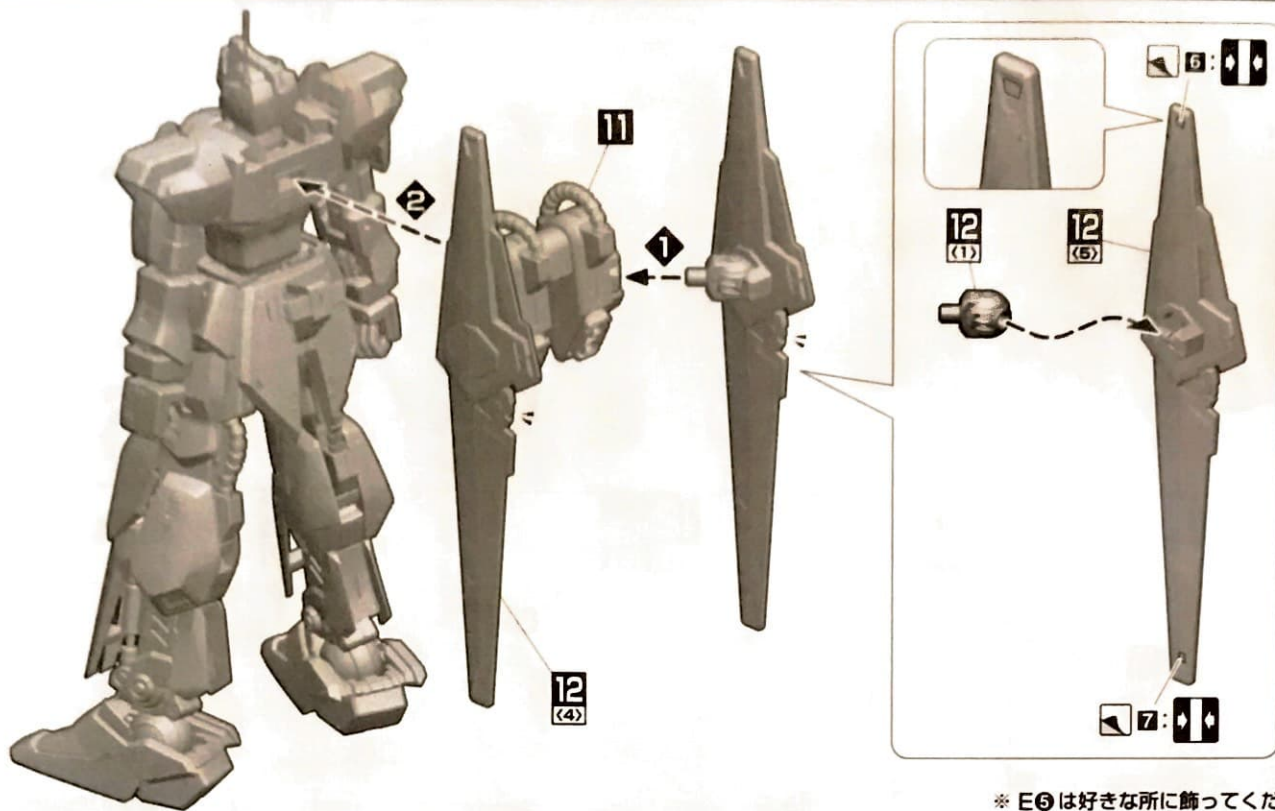
● 後から組み立てる

! 向きに注意して組み立てる

x2 部品を数値の個数作る

1 シールの番号

⇄ 両側に同じパーツを取りつける



\* E⑥は好きな所に飾ってください。

13 14 15 WEAPONS



・組立 13・14・15・16・17 で使用するパーツ

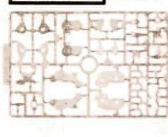
A(イロプラ)



B(グレー)



C(グレー) (x2)



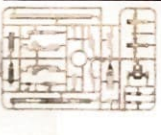
E(レッド)



G(ゴールドメッキ) (x2)



H(ガンメタリック)



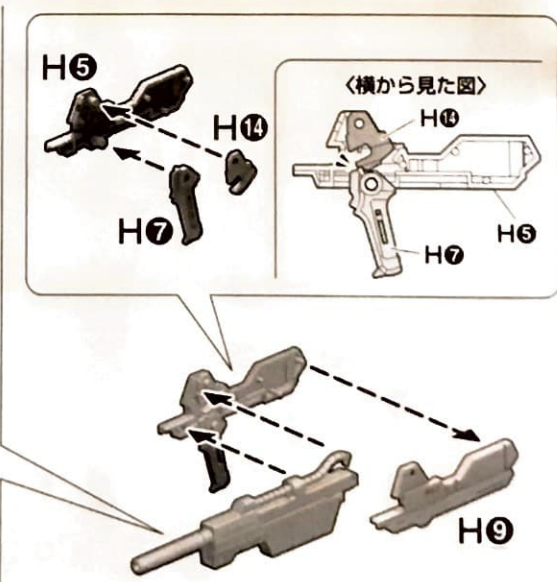
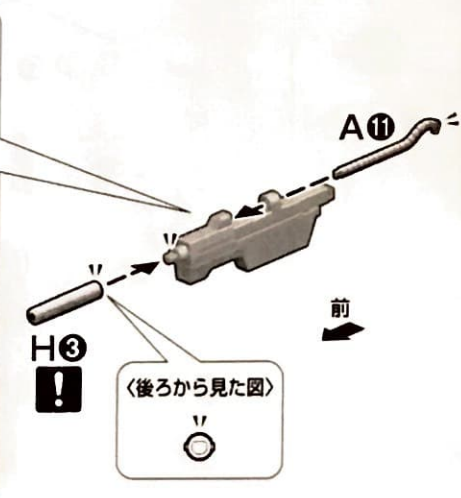
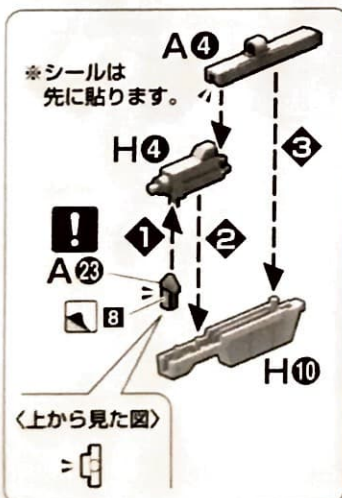
SB1(クリアイエロー)



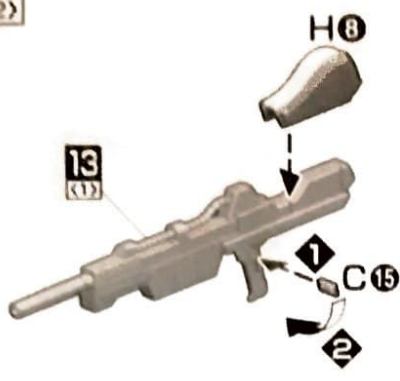
・カラーシール

13 (ビーム・ライフルの組立)

(1) BEAM RIFLE

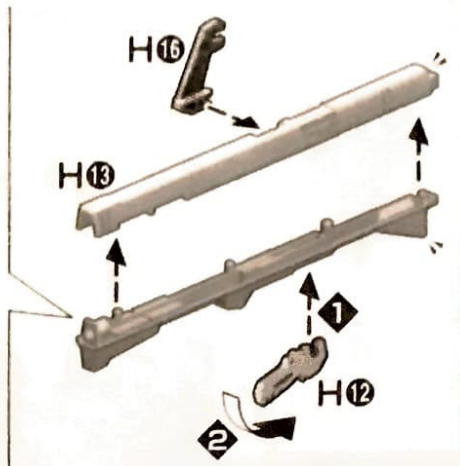
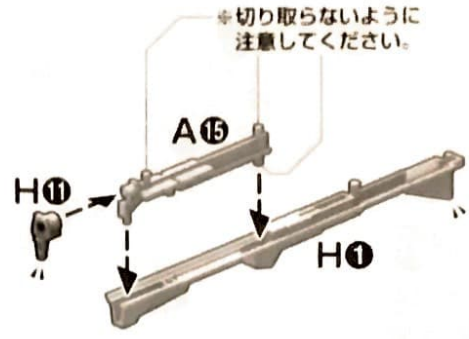


13  
(2)

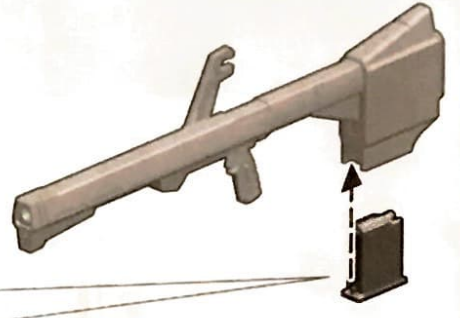
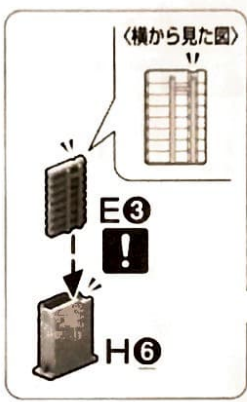
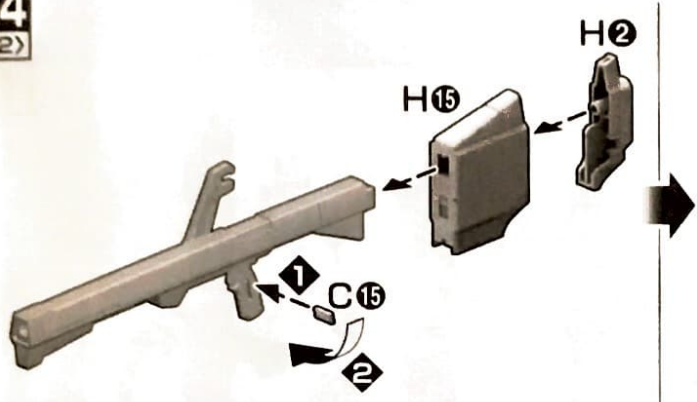


14 [クレイ・バズーカの組立]  
CLAY BAZOOKA

(1) ※切り取らないように注意してください。

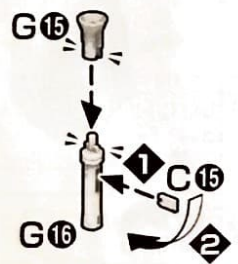


14  
(2)



15 [ビーム・サーベルの組立]  
BEAM SABER

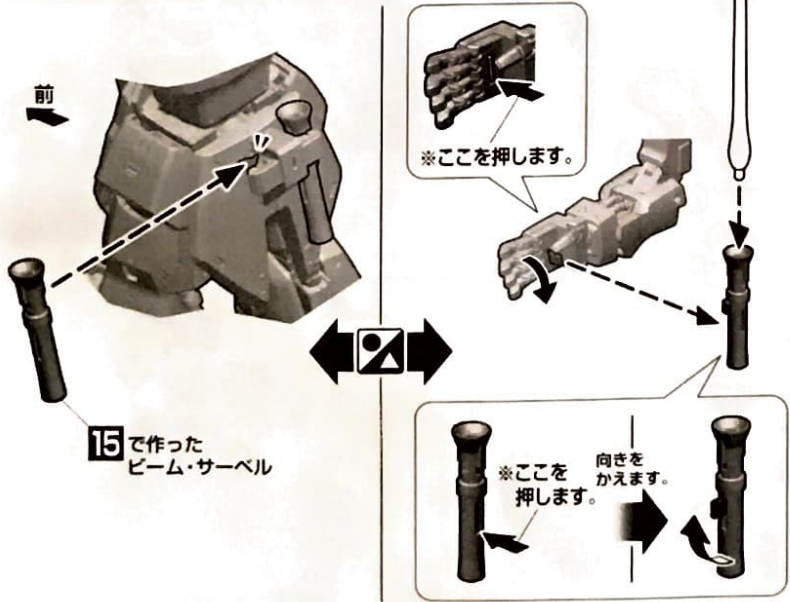
×2



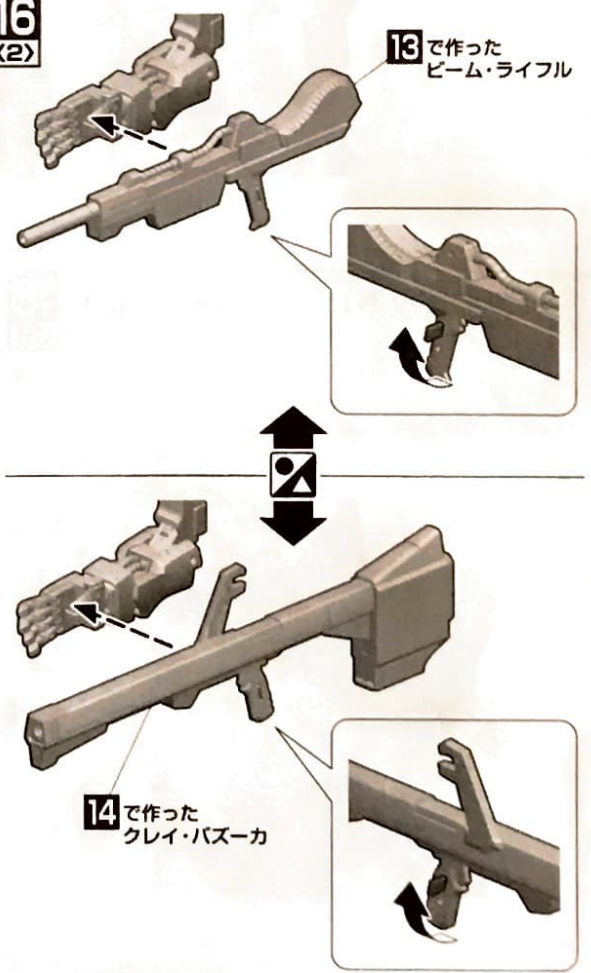
16  
(1)



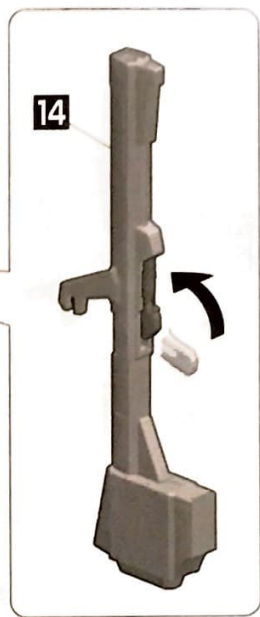
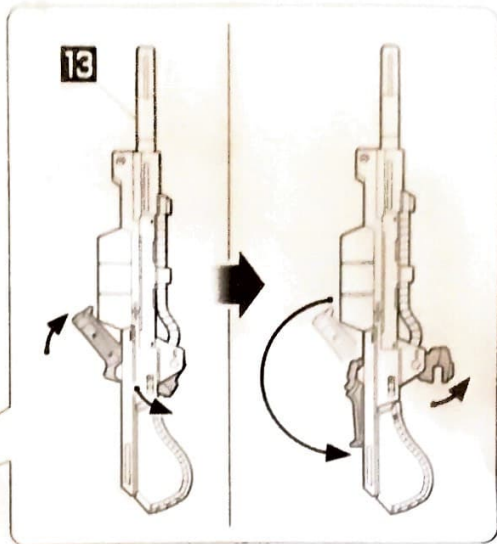
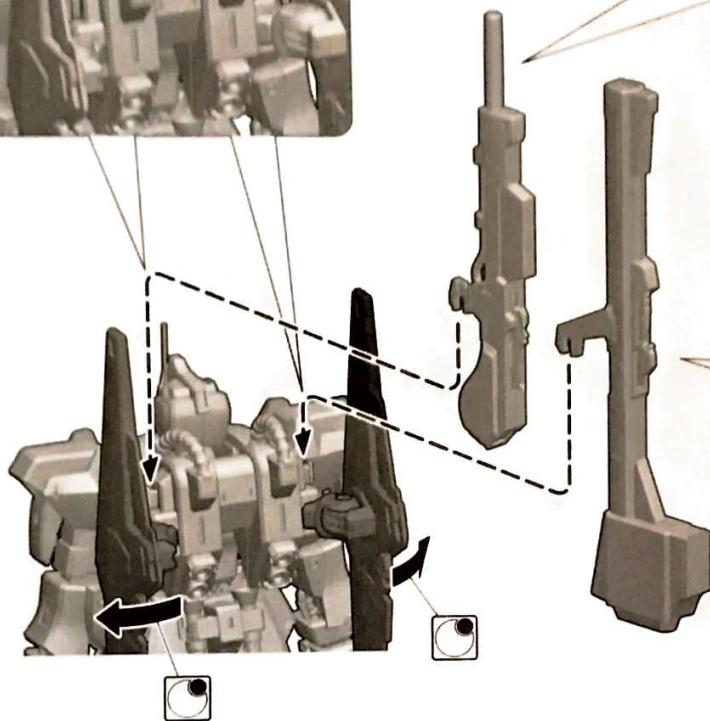
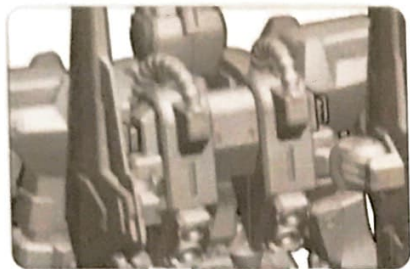
SB1①



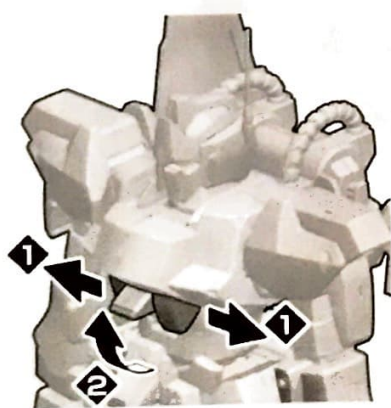
16  
(2)



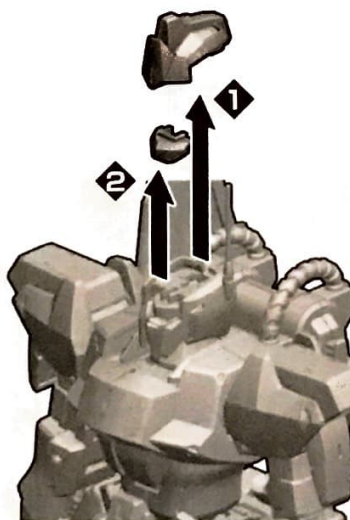
**16** (3) <バックパックへの武装の取り付け>



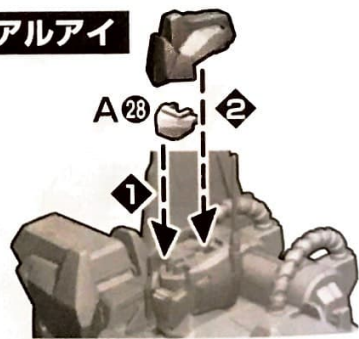
**16** (4) <コクピットハッチの開けかた>



**16** (5) <カメラアイの交換>



**デュアルアイ**



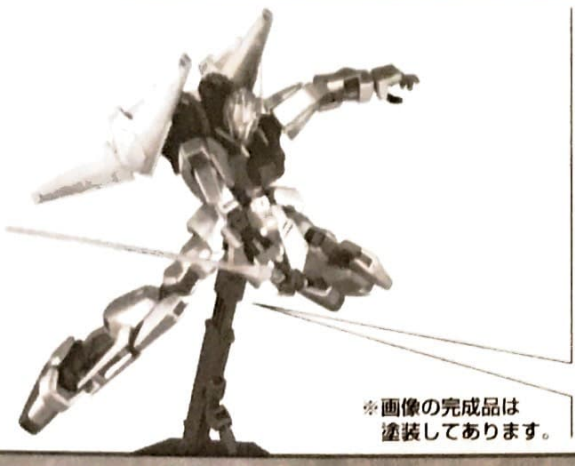
**走査線**

※シールは先に貼ります。



17 **1** <前から見た図>

● 脚の可動範囲が広がります。  
● 説明のため、一部イラストを省略しています。



B6

※バンダイプラモデルアクションベース1(別売り)を使用してディスプレイできます。

※本商品は MG 1/100「百式+バリュートバック」(別売り：未組立品)のバリュートバックを取り付けることができます。  
(プレミアムバンダイ MG 1/100「バリュートバック」(別売り：未組立品)も取り付けることができます。)  
▶プレミアムバンダイのバリュートバックの組み立てで、一部のPCの番号が異なりますので、[ ]で記載しています。

1

※「プレミアムバンダイ MG 1/100 バリュートバック」の場合、PC-126

PC X

BA2 6

前 BA2 7

H 19

向きをかえます。

BA1 5

BA1 6

前

x2 BA2 1

BA2 13

BA2 14

BA1 2

※各パーツは、形に合わせて取り付けてください。

2

※「プレミアムバンダイ MG 1/100 バリュートバック」の場合、PC-126

PC E !

BA1 3

BA2 8

BA2 4

PC E !

前

向きをかえます。

x2 BA2 12

BA2 11

BA1 1

※形状に合わせてはめ込みます。

3 <バリュートバック上部>

<上から見た図>

BA2 10

BA3 6

BA2 9

BA3 6

H 18

H 17 !

前

4 <バリュートバック下部>

BA2 10

BA1 12

BA1 13

BA2 9

前

5

3 <バリュートバック上部>

2

※きれいに切り取ります。  
BA1④

BA3⑥

4 <バリュートバック下部>

BA3⑥

向きをかえます。

前

BA3①

BA2②

6

x2

BA3④

BA3⑤

BA3③

BA3②

BA3⑦



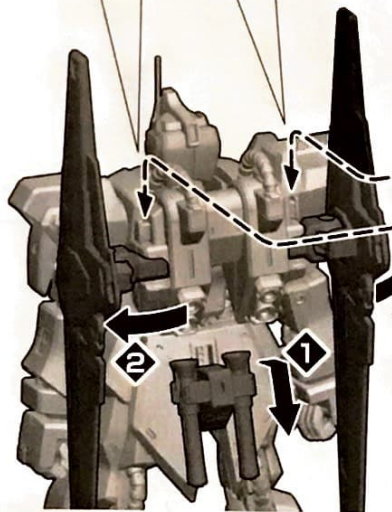
向きをかえます。

H20

7

※武器類は外しておきます。

5



8

1



<横から見た図>

※パイプを軽く曲げておきます。

# Seal

下の図を見て、マーキングシールやガンダムデカールの貼る位置を確認してください。

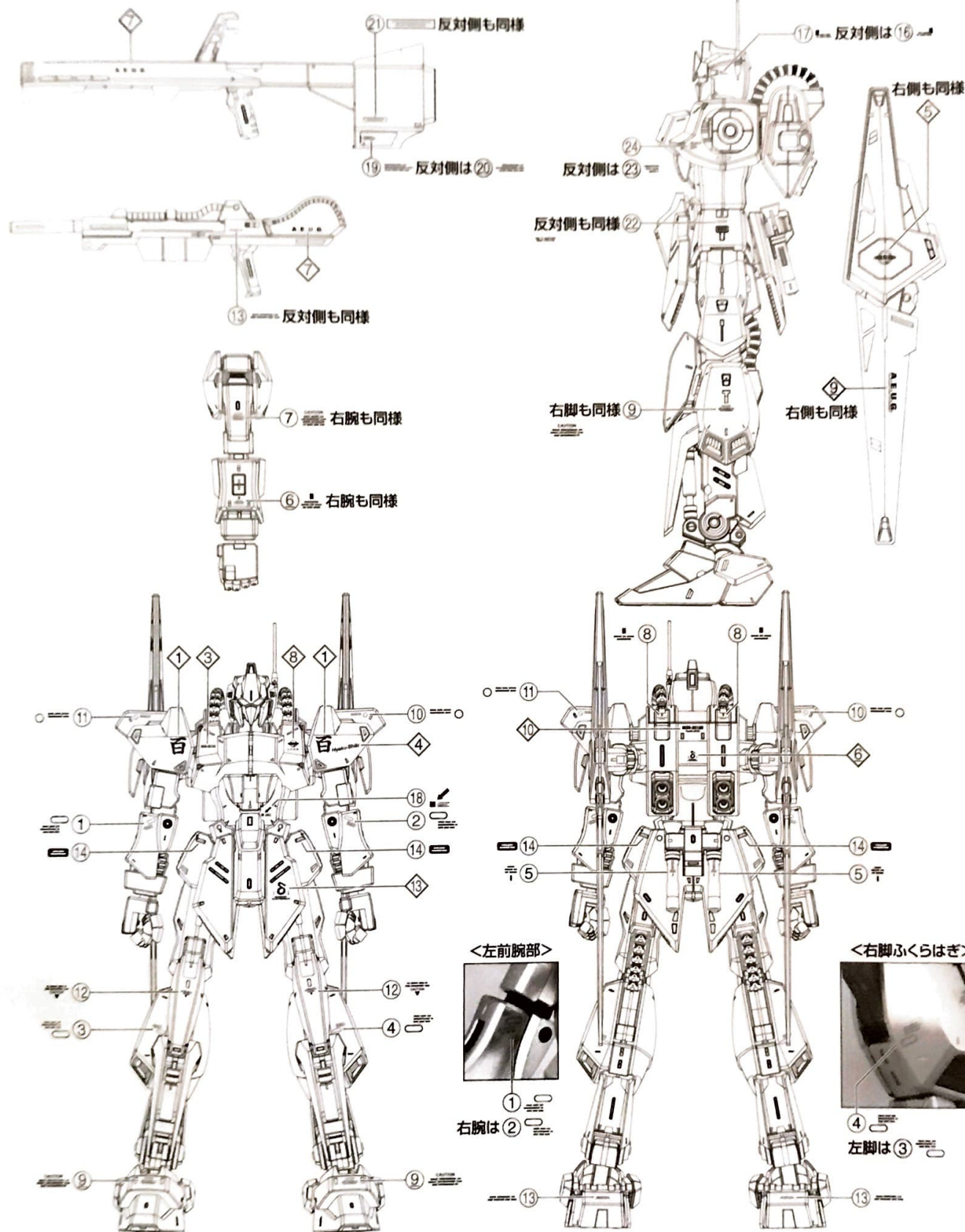
マーキングシールは○に数字  
ガンダムデカールは◇に数字で表記してあります。

【例】①・・・マーキングシール ◇・・・ガンダムデカール

## 【ガンダムデカールの貼りかた】

- 1 転写するマークを大きめに切ります。
- 2 転写する場所に軽く押さえ、ボールペン等の先の丸い物で上から軽くこすりつけます。
- 3 シート部分を静かにはがし、転写していない部分があれば、もう一度転写していない部分をこすります。

このマーキングシール及びガンダムデカールはプラモデルオリジナルのもので、貼り指示は一例ですのでイメージに合わせてお貼りください。



※余ったマーキングシールやガンダムデカールは好きな所に貼ってください。 ※説明のため、一部画像を省略しています。 ※画像と実際の商品とは多少異なります。

1/100 scale MASTER GRADE MSN-00100 HYAKU-SHIKI Ver.2.0



反地球連邦組織 (エウゴ)  
攻撃型モビルスーツ  
MSN-00100 百式 Ver.2.0  
1/100スケール マスターグレードモデル

◀…… キャンペーンを要する場合があります。応募する前に使用するのをご確認ください。

MSN-00100 HYAKU-SHIKI 

1/100スケール  
MG 百式 Ver.2.0

